

令和元年第4回士別市議会定例会会議録（第4号）

令和元年12月13日（金曜日）

午前10時00分開議

午前10時17分閉会

本日の会議事件

開議宣告

諸般の報告

日程第 1 議案第 111号 士別市朝日サンライズホールの指定管理者の指定について

日程第 2 議案第 112号 令和元年度士別市一般会計補正予算（第9号）

日程第 3 意見書案第10号 「国による妊産婦医療費助成制度創設」並びに「福祉医療制度の実施に伴う国保国庫負担金の削減措置廃止」を求める意見書について

閉会宣告

出席議員（17名）

副議長	1番	井上久嗣君	2番	真保誠君
	3番	苔口千笑君	4番	喜多武彦君
	5番	佐藤正君	6番	西川剛君
	7番	谷守君	8番	村上緑一君
	9番	渡辺英次君	10番	丹正臣君
	11番	国忠崇史君	12番	大西陽君
	13番	谷口隆徳君	14番	十河剛志君
	15番	山居忠彰君	16番	遠山昭二君
議長	17番	松ヶ平哲幸君		

出席説明員

市長	牧野勇司君	副市長	相山佳則君
総務部長	中舘佳嗣君	市民自治部長	法邑和浩君
健康福祉部長	田中寿幸君	経済部長	井出俊博君
建設水道部長	工藤博文君	朝日支所長	武田泰和君

教育委員 会長 中 峰 寿 彰 君 教育委員 会長 鴻 野 弘 志 君
生涯学習部

病院 事業 業者 三 好 信 之 君 市立 病院 院長 加 藤 浩 美 君
副 管 理

農業 委員 会長 飛 世 薫 君 農業 委員 会長 藪 中 晃 宏 君
農 務 局

監 査 委 員 吉 田 博 行 君 監 査 委 員 長 穴 田 義 文 君
務 局

事務局出席者

議 会 事 務 局 長 千 葉 靖 紀 君 議 会 事 務 局 長 岡 崎 浩 章 君
議 会 事 務 局 副 長 前 畑 美 香 君 議 会 事 務 局 副 長 駒 井 靖 亮 君
議 會 事 務 課 主 任 主 事

(午前10時00分開議)

○議長(松ヶ平哲幸君) ただいまの出席議員は全員であります。

これより本日の会議を開きます。

○議長(松ヶ平哲幸君) ここで事務局長から諸般の報告をいたします。

○議会事務局長(千葉靖紀君) 御報告申し上げます。

本日の議事日程及び諸報告については、配信のとおりでありますので、朗読を省略いたします。

以上で報告を終わります。

(朗読を経ないが掲載する)

1. 市長から送付された議案は次のとおりである。

議案第111号 士別市朝日サンライズホールの指定管理者の指定について

議案第112号 令和元年度士別市一般会計補正予算(第9号)

2. 議会運営委員会から送付された議案は次のとおりである。

意見書案第10号 「国による妊産婦医療費助成制度創設」並びに「福祉医療制度の実施に伴う国保国庫負担金の削減措置廃止」を求める意見書について

以上報告する。

令和元年12月13日

士別市議会議長 松ヶ平 哲 幸

○議長(松ヶ平哲幸君) それでは、これより議事に入ります。

日程第1、議案第111号 士別市朝日サンライズホールの指定管理者の指定についてを議題に供します。

提案者の説明を求めます。牧野市長。

○市長(牧野勇司君)(登壇) ただいま議題となりました議案第111号 士別市朝日サンライズホールの指定管理者の指定について、その概要を御説明申し上げます。

新年度から新たに指定管理者制度により管理運営を委任する朝日サンライズホールの指定管理者の募集方法については、本施設が舞台芸術に関する専門的な技術を要し、地域と一体となった事業活動が求められることから、施設の設置目的及び趣旨に合致した事業展開が期待できる一般社団法人舞藝舎に委ねることとで効果的かつ効率的な管理運営を行えるものと判断し、非公募による選定を進めました。

候補者の選定に当たっては、指定管理者審査委員会において今後の管理運営にかかわる事業計画について審議を行い、令和2年4月1日から7年3月31日までの5カ年を指定管理とし、一般社団法人舞藝舎を指定管理者に指定しようとするものです。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。（降壇）

○議長（松ヶ平哲幸君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。西川 剛議員。

○6番（西川 剛君） 何点か質問をさせていただきます。

今回の指定管理に当たっては、さきの議会でも真保議員のほうからの一般質問に対しての答弁で、今回の指定管理に処するメリット、デメリットということで答弁がございました。メリットとしては、専門スタッフの確保と育成、また行政コストの縮減、また、デメリットとしては、運営や財務に関する把握、行政の関与が薄くなるのではないかということでの認識も示されているところであります。

そこで何点かお伺いをしたいと思います。まず、専門スタッフの確保と育成という点でございますけれども、ただいまありました一般社団法人舞藝舎については、ことし8月の設立と聞いておまして、そういつてみれば新設法人でございます。計画書によれば、専門スタッフを確保していくということで、恐らく今はまだ採用に至っていないのではないかなと思うのですけれども、次年度4月1日以降の実際の指定管理に向けた法人の採用見込みについて現時点で把握している部分があればお知らせいただきたいと思います。

○議長（松ヶ平哲幸君） 鴻野生涯学習部長。

○生涯学習部長（鴻野弘志君） お答えいたします。

今、法人のほうとの話の中では、そのホール業務を運営していく正職員として4人見込んでいるということでございます。その中で3人についてはおおむね確保できるという見通しであると伺っております。

以上です。

○議長（松ヶ平哲幸君） 西川議員。

○6番（西川 剛君） いずれにしても、きょうの議決を経てということになるかと思っておりますけれども、4月1日からスタッフが足りないということにならないように、ぜひ法人に対する連携を含めてお願いしたいと思います。

2つ目は、メリットでありました行政コストの縮減という点についてお伺いをいたします。

今回5カ年の指定管理ということで、指定管理料としては3億7,200万円ということで大きな額で出ておりますが、とりわけ単年度の現行の直営に係る経費と単年度ベースで構いませんけれども、この指定管理によっていわゆる行政コストがどれぐらい縮減になるのか、行政としてもメリットとして出している部分になりますので、その数字についてお知らせください。

○議長（松ヶ平哲幸君） 丸財政課長。

○財政課長（丸 徹也君） 行政コストの縮減ということですので私のほうから御説明させていただきます。

今回の指定管理に伴う行政コストの圧縮の効果額ということで申し上げますと、令和元年の予算との単純比較ということになりますが、こちらと比べまして、人件費を含めた実質的な圧

縮額についてはおおむね1,500万円程度ということで見込んでいるところでございます。

以上でございます。

○議長（松ヶ平哲幸君） 西川議員。

○6番（西川 剛君） 人件費も含めて1,500万円ということで確認いたしました。

次に3点目、先ほど言った行政としてはデメリットじゃないかという部分で、私も事業計画、収支計画を見てちょっと気になっている部分ということでお伺いをいたします。

これまで、今年度まで含めてサンライズホールの特徴であります自主企画事業についてお伺いをしますけれども、自主企画事業については、ARCHあさひ、任意団体が実施主体となってこれまでさまざまな公演等の事業に関して、いわゆる補助金という形で支出をしているものと認識をしています。今回収支計画などを見ると、事業費に自主事業、子ども芸術劇場ということで支出の部に計上をされているのでありますけれども、見ますと、おおむね現行の補助金と、また子ども芸術劇場の事業費の大体合わせた額がこの事業費と計上されているんじゃないかなと思うところなんです。まず令和2年度、来年度からの自主企画事業、今回指定管理でいけば、この自主企画事業や子ども芸術劇場に係るような事業については、この法人が事業主体になるのではないかなという、説明などを聞いているとそういう認識なんですけれども、まずこの部分、この事業についてはどなたが事業実施主体になるのか、まずお知らせいただきたいと思えます。

○議長（松ヶ平哲幸君） 鴻野部長。

○生涯学習部長（鴻野弘志君） お答えいたします。

現状では、行政が直営ということで、議員からおっしゃられましたARCHあさひという団体に補助をして運営しているところであります。しかしながら次年度以降、指定管理ということでございますので、当然ARCHあさひという団体も、これは残るであろうとも思いますけれども、行政のほうからの事業のオーダーについては、こういった今現状のこの自主企画事業も含めて指定管理先にオーダーしますので、この実施主体というのは法人になるということでございます。

以上です。

○議長（松ヶ平哲幸君） 西川議員。

○6番（西川 剛君） であれば、今回提案についている資料でいくと、結果的に事業費、これは申し上げたとおり現行の補助金に類するような額が記載されていると思うんですけれども、本来であれば今ありましたとおり、自主事業の実施主体がこの法人だということであれば、観賞型事業などについてはチケット販売料などもあると思うんですけれども、そういった部分がこの収支計画の中にいわゆる収入の部として計上されない点、こういう提案書になっている部分について若干説明をいただければなと思えます。

○議長（松ヶ平哲幸君） 鴻野部長。

○生涯学習部長（鴻野弘志君） お答えいたします。

今回この指定管理を進めるに当たりましては、今現状の行政が行っている事業、いわゆるそのままの形で指定管理にしていきたいという考えがまず根底にございました。そういった意味では我々も今回この議案のような数字になってございますけれども、実態に即した形ということで整理をしたところではございましたが、おっしゃられるように、入場料ということで、数字上のということであればそれは当然出てくるべき、これは決算等でも出てくるべきだとは思ってございますけれども、実態としては、この事業は収入をはるかに上回る事業費がかかっているという現実、それによって芸術を広く市民にとということもございますので、そういった内容であったということで御理解をいただければと思います。

以上です。

○議長（松ヶ平哲幸君） 西川議員。

○6番（西川 剛君） 計画書の記載の部分については今の答弁で理解をしました。

ただ、やはり5カ年と長きにわたる計画ということで今議会のほうに来ているということでもありますので、この先というか、補助金でいけば毎年毎年の計画があつて、それに対して補助金ということで予算づけもしてきたのかなと思うんですけれども、今回この5カ年ということで長きにわたる部分がありますので、そういった面では2年度、3年度と年数を重ねていくときの、いわゆる行政が特色あるこのサンライズホールの自主事業というものをどうやってチェックをしていく、関与していくのかというのが一点心配になるんですけれども、今回の部分は5カ年という計画でありますけれども、指定管理料の具体的な支出については、単年度単年度の指定管理料というのは変動しないものなんでしょうか、5カ年の分を一括渡すのか、指定管理料の支払いの方法についてちょっと確認をしたいと思います。

お願いします。

○議長（松ヶ平哲幸君） 丸課長。

○財政課長（丸 徹也君） お答えいたします。

指定管理料の支払いの方法ですけれども、今議員のお話にありましてとおり、今回御提案させていただいている内容としては、まず5年間の指定管理の指定を行いたいという内容でございますが、その単年単年の指定管理料の設定につきましては、毎年度、年度協定ということで、団体のほうと私どものほうで協議をした上で実際の金額のほうを確定していくという形になってまいります。

以上でございます。

○議長（松ヶ平哲幸君） 西川議員。

○6番（西川 剛君） 今回は5年の基本協定のうち毎年、年度協定ということで結んでいくということで、今お聞きをしました自主事業がどういう形で行われるかというのは、これはその部分でも行政がチェックというか、今やっている自主事業が、ちょっと嫌らしい言い方をすれば指定管理によってそのボリュームが少なくなっていくとか、そういった部分に対するしっかりと行政の関与があるという、こういう理解でよろしいでしょうか。

○議長（松ヶ平哲幸君） 鴻野部長。

○生涯学習部長（鴻野弘志君） お答えいたします。

そもそもこの指定管理に移行していくということが、今、現状本市のこの朝日サンライズホテルの事業、あるいはスキル、これを継続して行政として提供していきたいということがまず根底でございます。そういった意味では同じ効果のある内容でいきたいということでございますから、具体的な事業の中身については法人のほうと協議をしながらということでございますけれども、計画段階、あるいは結果段階においてもこれは法人と十分に協議をしながらよりよいものの提供ということで考えてまいりたいと思っております。

以上です。

○議長（松ヶ平哲幸君） ほかに発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松ヶ平哲幸君） それでは、これより採決に入ります。

本案については、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松ヶ平哲幸君） 御異議なしと認めます。

よって、議案第111号は原案のとおり可決されました。

○議長（松ヶ平哲幸君） 次に、日程第2、議案第112号 令和元年度士別市一般会計補正予算（第9号）を議題に供します。

提案者の説明を求めます。相山副市長。

○副市長（相山佳則君）（登壇） ただいま議題となりました議案第112号 令和元年度士別市一般会計補正予算（第9号）について、その概要を御説明申し上げます。

初めに、総務費では、ふるさと寄附金推進事業費において、ふるさと寄附の件数、金額がともに増加傾向にあり、前年を上回る見込みであることから、返礼品発送等に要する費用1,200万円を追加計上しました。

次に、農林水産業費です。

農業振興施設等整備事業費では、北海道から地域づくり総合交付金の内示があったことから、北ひびき農業協同組合が実施する種子バレイシヨ選別機改修等に対する補助金として1,850万円を追加計上しました。

なお、これらに要する財源については、道支出金の特定財源及び地方交付税の一般財源をもって収支の均衡を図った次第です。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。（降壇）

○議長（松ヶ平哲幸君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松ヶ平哲幸君） それでは、これより採決に入ります。

本案については、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松ヶ平哲幸君） 御異議なしと認めます。

よって、議案第112号は原案のとおり可決されました。

○議長（松ヶ平哲幸君） 次に、日程第3、意見書案第10号 「国による妊産婦医療費助成制度創設」並びに「福祉医療制度の実施に伴う国保国庫負担金の削減措置廃止」を求める意見書についてを議題に供します。

本案については、提案者の説明を省略いたします。

質疑に入ります。

御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松ヶ平哲幸君） それでは、これより採決に入ります。

本案については、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松ヶ平哲幸君） 御異議なしと認めます。

よって、意見書案第10号は原案のとおり可決されました。

○議長（松ヶ平哲幸君） 以上で本定例会に付議されました案件の審議は全部終了いたしました。

令和元年第4回定例会はこれをもって閉会いたします。

御苦労さまでした。

（午前10時17分閉会）

以上、本会議のてん末を記載し、その相違なきことを証するため、ここに署名する。

令和元年12月13日

士別市議会議長 松ヶ平 哲 幸

士別市議会副議長 井 上 久 嗣

署 名 議 員 渡 辺 英 次

〃 丹 正 臣

〃 国 忠 崇 史